

◆開催目的：次期総合計画が、市民にとって共有できる「ビジョン」や「シナリオ」となることを目指して、市民が主体となって参加し、将来のあきる野市の理想の姿及び実現に向けたアイデア出しを行う機会を設定。

◆各回の概要

テーマ	ワーク内容 (4～5人で1グループを作り、意見交換)	西部 (五日市・戸倉・小宮)	中部 (西秋留・増戸)	東部 (東秋留・多西)
第1回 あきる野市の個性を浮き彫りにしましょう(宝・困りごと)	<p>ワーク①データから見るあきる野市の全貌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布した、あきる野市の現状に関する各種統計データを確認し、データに対する意見交換(感想、疑問、原因に関する仮説等)を実施 <p>ワーク②あきる野市の「宝」と「困りごと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者自身にとって実感のある、あきる野市における「宝」と「困りごと」について、事前に家族や友人にインタビューをした内容も交えて、意見交換を実施 	<p>【開催日時】 9月1日(日) 10:00～12:30</p> <p>【参加者数】 15名</p>	<p>【開催日時】 8月31日(土) 15:30～18:00</p> <p>【参加者数】 12名</p>	<p>【開催日時】 8月31日(土) 10:00～12:30</p> <p>【参加者数】 17名</p>
第2回 あきる野市の望ましい将来像を描きましょう	<p>ワーク「10年後、こうなるといいなあ」というまちの将来像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画分野(都市整備・産業振興・生活環境・健康福祉・教育文化)ごとに整理した、第1回の検討内容を振り返り、参加者の希望を踏まえ、2つの計画分野について将来像を検討するグループを組成 ・テーブルごとに、計画分野につき最大2つの検討項目を選び、第1回の検討内容を踏まえ、宝を活かす、あるいは困りごとを解消するという視点を持って、将来像を検討 	<p>【開催日時】 9月21日(土) 15:30～18:00</p> <p>【参加者数】 15名</p>	<p>【開催日時】 9月21日(土) 10:00～12:30</p> <p>【参加者数】 11名</p>	<p>【開催日時】 9月14日(土) 10:00～12:30</p> <p>【参加者数】 17名</p>
第3回 市民が主体となることができること、やるべきことを考えましょう	<p>ワーク：将来像の実現に向けて、市民が主体となることができること・やるべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回で検討した将来像(参加者の互選によって選ばれたものを抽出)について、将来像が実現した際の具体的な生活イメージを深掘りするとともに、実現に向けて市民と行政、それぞれが主体となることができることややるべきことを検討 	<p>【開催日時】 10月19日(土) 10:00～12:30</p> <p>【参加者数】 15名</p>	<p>【開催日時】 10月19日(土) 15:30～18:00</p> <p>【参加者数】 9名</p>	<p>【開催日時】 10月20日(日) 10:00～12:30</p> <p>【参加者数】 14名</p>

◆ワークショップの様子



◆第1回結果概要（データから見るあきる野市の全貌、全体の傾向（意見が多かったデータ））

順位	データ項目	主な意見（趣旨）
第1位	・住宅事情(住宅戸数・空き家戸数)	・空き家が増えており、利活用の検討が必要 ・狭い土地に小さな戸建て住宅が虫食い状態で増えている
第2位	・鉄道（乗車人員の推移）	・五日市線は本数や接続の面から不便である ・五日市線の利用者減は通勤利用の減少（企業の撤退、生産年齢人口減）が要因の一つではないか
第3位	◆地域公共交通の状況	・るのバスの利便性（便数、ルート等）の向上が必要 ・るのバスを使ったことがない、知らない人が多い
	◆地区別人口	・人口増/減は生活利便性（交通、買い物等）に左右されるのではないか ・戸倉地区の人口減が特徴的
第4位	—	—
第5位	◆商業	・個人商店が減少している ・一か所で買い物ができる商業施設を利用している
	◆観光（注目度の高い施設）	・東京サマーランド以外の観光資源の発掘、PRが必要 ・地域への経済効果を高めることが必要

◆第1回結果概要（データから見るあきる野市の全貌、3地域の傾向（意見が多かったデータ））

順位	西部	中部	東部
第1位	◆住宅事情（住宅戸数・空き家戸数） ◆地域公共交通の状況	・住宅事情（住宅戸数・空き家戸数）	・住宅事情（住宅戸数・空き家戸数）
第2位	—	◆地区別人口 ◆鉄道（乗車人員の推移）	・観光（滞在人口）
第3位	・路線バスの利用者数	—	・総人口・世帯数
第4位	◆地区別人口 ◆鉄道（乗車人員の推移）	・健康寿命	◆鉄道（乗車人員の推移） ◆地域公共交通の状況 ◆観光(注目度の高い施設)
第5位	—	◆総人口・世帯数 ◆商業	—

◆第1回結果概要（「宝」と「困りごと」について、3地域の傾向（主な意見））

計画分野	宝	困りごと
都市整備	<p>【3地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活圏に近い、気軽に楽しめる自然（山、川、風景） <p>【西部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○始発・終着駅としての武蔵五日市駅（通勤・通学の際に座れる） 	<p>【3地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の利便性向上が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・広域交通(五日市線の本数、乗り継ぎ等) ・地域交通（路線バスやるのバスの便数、運行時間帯等） <p>【東部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●街路樹の適切な管理が必要 <p>【中部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道路の適切な整備、維持管理が必要 <p>【西部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多世代が楽しめる公園の整備、維持管理が必要
産業振興	<p>【東部・中部地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な食資源(とうもろこし、秋川牛、鮎等)による充実した食生活 <p>【東部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「瀬音の湯」を活用した誘客（周辺への波及効果） <p>【西部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ロケーションを活かしたプロモーションの可能性 	<p>【3地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●買い物の利便性向上が必要 <p>【東部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●農業の多角的な振興が必要（遊休農地の活用、市民農園の確保、ファーマーズマーケットの充実等） <p>【中部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●秋川駅前のにぎわい不足
生活環境	<p>【3地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水（秋川、平井川等）や緑による良好な生活環境 <p>【西部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティが強い（子どもの見守り、日常的なコミュニケーション、お祭りが盛ん等）。 	<p>【3地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティ機能の維持・向上が必要（担い手の確保・育成、新旧住民間のコミュニケーション、町内会・自治会加入促進等） <p>【中部・西部地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ごみ問題への対応が必要（住民や観光客による不法投棄、分別等） <p>【東部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●河川の整備、維持管理が必要（安全性確保、雑草管理等）
保健福祉	<p>【東部・西部地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な健康づくり活動が展開 	<p>【東部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の生活利便性の向上が必要 ●子どもの預け先の充実が必要（学童保育後の預け先、病児保育等） <p>【中部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民が高齢者福祉施設に入所しにくい。 <p>【西部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●配食ボランティアの周知不足
教育文化	<p>【3地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統芸能やお祭りが盛ん。 ○多様な歴史資源が集積 	<p>【東部・西部地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化施設の充実が必要（祝日の開館、各種教室や講座内容の充実等） <p>【中部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の適正な管理が必要（学校、プール、体育館等）
行財政	—	<p>【3地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●財政の健全化が必要（収入の確保、市民負担の検討等） <p>【東部・中部地域共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市の魅力をアピールする力（企画、発信等）の向上が必要

◆参考（職員ワークショップ結果概要（あきる野市の「宝」と「困りごと」））

計画分野	宝（意見概要）	困りごと（意見概要）
都市整備	<p>【交通体系】 ○都心へのアクセスが良く、居住地の候補となりやすい。 ○圏央道（あきる野インター）が近く、行き来しやすい。</p> <p>【緑豊かな環境】 ○緑や自然が豊富で、風景も良く、レジャーやウォーキング、憩いの場等に適している。</p> <p>【土地利用】 ○都市と自然のバランスがとれていて住みやすい。</p>	<p>【交通体系】 ●通勤や観光の面において、広域交通（JR五日市線）の利便性（本数、乗り換え）が低い。 ●市内の観光スポットや商業施設等へのアクセスの面において、地域内交通（バス）の利便性（本数、ルート等）が低い。</p> <p>【道路】 ●狭い道路（生活道路）が多く残っている。</p>
産業振興	<p>【観光】 ○自然を活かしたレジャー（バーベキュー等）が楽しめる。 ○集客力の高い観光施設（東京サマーランド、瀬音の湯等）がある。 ○地域固有の行事やお祭り。</p> <p>【農業】 ○品質の良い農作物（のらぼう、とうもろこし等）が採れる。</p>	<p>【商業】 ●周辺地域の大規模商業施設の影響もあり、市内の商業施設が減少傾向にある。</p> <p>【産業誘致】 ●圏央道の近接性を活かすきれず、大企業が少ない（勤め先や税収の確保に課題）。</p> <p>【プロモーション・PR】 ●あきる野と言えばというイメージや知名度が低い。</p>
生活環境	<p>【水・緑環境】 ○良好な水環境や緑環境が保たれており、多様な生物（アユ、ホタル、カブトムシ等）を見ることができる。</p> <p>【コミュニティ】 ○日常的なご近所付き合いもあり、自治会・町内会の加入率が高く、地域のつながりが強い。</p> <p>【住環境】 ○騒音が少なく、静かで住みやすい。</p>	<p>【ごみ】 ●不法投棄（キャンプやバーベキュー利用者等）されている場所がある。</p> <p>【空き家】 ●空き家が増えており、対策が必要</p>
保健福祉	<p>【医療】 ○阿伎留医療センター（総合病院）があり、医療面での安心感がある。</p> <p>【高齢者】 ○要介護認定率が低く、健康で元気な高齢者が多い。</p>	<p>【医療】 ●産婦人科など、専門的な診療を受ける選択肢が少ない。 ●医療機関から遠い地域がある。</p>
教育文化	<p>【文化】 ○歴史的な価値が高い文化資源（寺社仏閣等）や郷土芸能が多い。 ○市民が一体になれるお祭りがある。</p> <p>【図書館】 ○図書館は館数やサービスの面で充実している。</p>	<p>【教育施設】 ●統廃合等により、学校がない地域もある一方、将来的な維持管理の方針を考える必要がある。</p>
行財政	<p>【行政サービス】 ○コンビニ収納・交付や土曜日開庁等、サービスが充実している。 ○メールや放送等、多様な広報を展開している。</p>	<p>【財政】 ●大きな税収源がなく、財政力が弱い。</p>

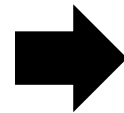
※職員ワークショップ→若手職員を主な対象に、市民ワークショップ第1回と類似のプログラムを実施（令和元年8月9日）。

◆第2回結果概要（将来像について、3地域の傾向（主な意見））

○グループごとに検討した将来像に対して、参加者同士、自グループ以外の検討した将来像について、特に共感や関心等を抱いた意見に対して投票（1人あたり最大2票）を行いました。

○上記の投票を経て、得票のあった将来像を対象にキーワードの抽出を行いました。特に多かったキーワードは以下の通りです。

	回答数	割合
活力	21	36.8%
自然	13	22.8%
住みよさ	12	21.1%
生きがい	10	17.5%
健やか	10	17.5%
絆	6	10.5%
快適さ	5	8.8%
安心	5	8.8%
交流	5	8.8%
文化	4	7.0%
創造	3	5.3%
支え合い	3	5.3%
豊かさ	2	3.5%
安全	2	3.5%
便利	2	3.5%
継承	2	3.5%
備え	1	1.8%
回答対象	57	



キーワード	該当する意見の概要
活力	<ul style="list-style-type: none"> 一貫したコンセプトのもとでの一体的な起業支援 武蔵引田駅北口のような開発の推進（モデル街区化）、電線の地中化、歩車道の分離 市外から遊びに来る人が増える。等
住みよさ	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の流入、定着 周辺住民も楽しむことができるという視点を持った、来訪促進に向けた環境整備 ボランティア精神を奪いすぎず支え合う（必ずしも無償ではない）。有償ボランティアによる輸送代替を行う。等
自然	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の管理活用に向けた、協働の推進（市民団体の動機付け強化も含む） 環境に配慮しつつ、「川」を軸としたにぎわいづくり。 自然環境が維持できるレベルの人口の確保 等
生きがい	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の「ちょっとした」働く場の実現 買うだけでなくサロン（たまり場）等、複数の機能を兼ねた場の実現 ボランティアによる教育支援の推進 等
健やか	<ul style="list-style-type: none"> 交流機会の仕掛けを増やす（高齢者福祉）。 高齢者が元気で暮らすことができるまち 健康寿命の高さをアピールポイントにする。 等

◆第2回結果概要（キーワード抽出の対象となった将来像）

項目	意見(赤字は事務局追記)	得票数	キーワード1	キーワード2	キーワード3	キーワード4
将来像	・伝承の中で社会性が学べる(他から越して来たので行事に参加することで地域になじめた)。	4	継承	絆	交流	文化
将来像	・交流機会の仕掛けを増やす。(高齢者福祉)	3	絆	健やか		
将来像	・通勤者にとって便利になってほしい。	2	便利	快適		
将来像	・外国人スタッフを見て、子どもたちのグローバルな視点が広まる。(産業振興・プリティッシュヒルズのような施設)	2	文化	交流		
将来像	・歴史を学び日本伝統を受けついでほしい。	2	伝統	継承		
将来像	・市全体で里山・農地公園として整備・PR。 ・既存の施設、産業、取り組みのネットワーク化。 ・一貫したコンセプトのもとでの一体的な起業支援。	2	自然	創造	活力	
将来像	・武蔵引田駅北口のような開発の推進(モデル街区化)・電線の地中化・歩車道の分離	2	活力	快適さ	安全	
将来像	・健康寿命の長さをアピールポイントに。	2	健やか			
将来像	・若い人と高齢者のシェアハウスはどうか。	2	安心	絆		
将来像	・地域のサロンを作る(図書室みたいなもの)。	2	健やか	生きがい		
将来像	・ニーズにあったマッチングの仕組みづくり。(高齢者福祉施設)	2	安心	安らぎ		
将来像	・若年層の定着。	2	住みよさ	活力		
将来像	・安全な通学路の整備。	1	安全			
将来像	・市役所北側は宅地ではない利用をしてほしい。都立公園の拡大とか、スポーツ施設とか、公共性の区域に利用してほしい。	1	自然	豊かさ		
将来像	・企業活動としての利用促進。	1	活力			
将来像	・休耕田や畑の利用を考えて。	1	活力			
将来像	・市民団体の活動が活発になるような動機付けを行うとともに、行政との協働をさらに進める。(自然環境の管理・活用)	1	自然	支え合い		
将来像	・市外から遊びに来る人が増える。	1	活力	創造		
将来像	・自転車、ウォーキングコースの拡大(種類、道幅)。	1	自然	活力	健やか	
将来像	・ボランティア精神を奪いすぎず支え合う(必ずしも無償ではない)。有償ボランティアによる輸送代替を行う。	1	快適さ	住みよさ	生きがい	
将来像	・簡単にできることから始める(旅行時の不在を伝える)。10年後なら携帯を介してコミュニケーションは取りやすくなるかも。	1	安心	絆	住みよさ	
将来像	・親世代と地域のきずなを高める。	1	絆	安心		
将来像	・元気高齢者の人材活用(介護予防と生活支援の複合型インフォーマルサービス)。	1	健やか	安心	生きがい	
将来像	・今あるもの(自然)を多くの人にどうみせるか、どう体験してもらおうか。今のトレンドに結びつけて企画し、変化し続ける仕組みが必要。	1	創造	活力		
将来像	・合宿等できる宿泊施設の誘致(プリティッシュヒルズのような)。	1	活力	文化		
将来像	・あきる野市の知名度UP。	1	活力			
将来像	・ボランティアによる教育支援。	1	生きがい	支え合い		
将来像	・休耕地を再利用、管理人をつけるなど利用しやすい工夫を。	1	活力			

項目	意見(赤字は事務局追記)	得票数	キーワード1	キーワード2	キーワード3	キーワード4
将来像	・若い世代の人口の流入を目指す。	1	活力	住みよさ		
将来像	・あきる野市に旗ふりを(産業振興面におけるステークホルダー間の連携促進)。	1	活力			
将来像	・文化活動の奨励(補助)、空き家空き施設の利用も含めた施設整備(市全体に施設を点在させるため)。	1	豊かさ	生きがい		
将来像	・自然環境が維持できるレベルの人口。	1	住みよさ	自然		
将来像	・住宅周囲に森林を増やす。木に囲まれた環境。	1	自然	住みよさ		
将来像	・アクティブなニーズのある若者を呼びこむ。	1	活力	住みよさ		
将来像	・楽しく乗車ができる(車窓の景色(自然)を楽しむ、スタンプシールサービス、都内でも珍しい木造駅舎の武蔵引田駅の存在)。	1	自然	活力		
将来像	・アプローチの魅力化、自転車道としての整備。	1	快適さ			
将来像	・老若男女が楽しめるイベントを増やす。	1	絆	支え合い		
将来像	・外国人が参加出来るような場所や行事があれば良い。	1	文化	交流		
将来像	・財政の使い道を考える。	1	備え			
将来像	・自然を残そうとする住民意識の向上。	1	自然			
将来像	・若者の交流の場をつくる。	1	交流	住みよさ		
将来像	・通勤・通学の時間帯への鉄道接続の確保。	1	便利	快適さ		
将来像	・個人で生ごみを減らせる努力を少しずつ。	1	住みよさ			
将来像	・まだまだ知られていない観光資源のPR、訪れることができる環境の整備。	1	活力			
将来像	・ミニマム生活で満足するゆとりをもつ。	1	住みよさ			
将来像	・自然と共存できる工夫。	1	自然			
将来像	・川越の小江戸のようなマーケティング。	1	活力			
将来像	・川原を整備し、観光利用(+維持)。	1	活力	自然		
将来像	・高齢者が集まれるサロンのような場所。	1	健やか	生きがい		
将来像	・お年寄りが主役になる。	1	健やか	生きがい		
将来像	・元気な高齢者が元気で暮らせるような工夫。	1	健やか	生きがい		
将来像	・遊歩道に木のチップを使って整備している。	1	自然			
将来像	・「川」を起点とした交通(船)観光ルート。	1	活力	快適さ	自然	
将来像	・環境に配慮しつつ、「川」によるにぎわいづくり。	1	活力	自然		
将来像	・周辺住民も楽しめる環境(中長期的な視点)。	1	活力	住みよさ		
将来像	・買うだけでなくサロン(たまり場)など、複数の機能を兼ねた場づくり。	1	住みよさ	生きがい	健やか	交流
将来像	・高齢者の「ちょっとした」働く場。	1	生きがい	健やか		